コラム 9-3　タコの性格と人間の性格の共通性

タコや一部のイカなどの頭足類の一部は，かなり知能が高いことが動物研究によって知られていますが（たとえば，水槽の中にいるある種のタコは，人がビンの蓋をひねって開けるのを見ただけで，水槽に入れられたビンのふたをひねって中のエサを取り出すことができるなど），タコの神経細胞の数はカエルの約 20 倍もあることが知られており，認知機能は神経細胞数自体ではなく，その組み合わせ（ネットワーク）の数が重要なので，機能的には膨大な差（理論上は 20 の 20 乗倍）があることがわかります。

生物学者のアンダーソンは，タコを対象に行動（性格傾向）を詳しく調べた結果,「大胆」「内気」「受身」という 3 つのタイプがあることを明らかにしています。この他にも，カニをエサにして，カニを水槽に入れると同時に電気ショックを与えて，タコの反応の違いを調べた研究でも，反応のパターンは「電気ショックに驚いて，カニが水槽に入れられても二度と隠れ場所から出てこないタイプ」「何度感電しても，カニを見ると出てきてショックを受けるタイプ」「様子を見ながら用心深くカニを捕ろうとするタイプ」の 3 つのタイプに分かれることが報告されています。性格に 3 つのタイプがあるというのは，どこかで聞いたことがあるような……（Lecture 9 を参照）。タコの性格のタイプと人間の性格のタイプには共通性があるのかもしれません。